

開設科目名	コミュニティ・エンパワメント演習	科目コード	BSNLH401	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（選択）	時間数	15 時間	授業区分	演習
責任者	近末清美	担当者	看護系教員		
授業の概要（授業の目的）					
本科目において学生は、コミュニティを構成する人々とともに協働・連帯し、互いにエンパワメントされ、地域の人々が自ら地域の活性化を促すケアの文化の構築を目指したプロジェクトを企画・実施する。さらに、看護専門職者として看護の資質向上が人々の健康を高めることに繋がることを理解し、生涯継続した能力の向上を図るためのキャリアビジョンを描く。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 地域で生活する人々との協働・連帯について考えることができる。			いのちの尊重・倫理的本質		
2. 地域で生活する人々がより良い生活ができるようプロジェクトを企画することができる。					
3. 看護倫理に基づく責任ある看護実践ができる。					
4. プロジェクトの成果を評価し看護職の役割と課題を探究することができる。					
5. 看護の専門職として生涯学修することの必要性を理解できる。					
6. 看護学の発展に寄与するためのキャリアビジョンを描くことができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	1. オリエンテーション	講義	担当者 全員	オリエンテーション 資料を読んでおく 課題にそって探究する	4 時間
2	2. PDCA サイクルによるプロジェクトの実行 →Plan（計画）：学生が自らテーマを選び、地域の人々とともに課題解決に ↓ 取り組むための計画を立案 ↓ Do（実行）：作成した計画に基づき実践 ↓ Check（評価）：行動を評価 ↓ Action（改善）：内容を見直し修正	演習			4 時間
3					4 時間
4					4 時間
5					4 時間
6					4 時間
7					4 時間
8	3. まとめ 活動についての意見交換、フィードバックおよびプレゼン（レポート）	発表 討議			4 時間
成績評価方法・基準		①レポート 60% テーマ「地域の人々との連帯・協働について考える」 ②演習への取り組み姿勢 40% 評価者：担当教員全員			
課題に対するフィードバック		担当者からその都度フィードバックを行います			
教科書		特になし			
参考書・参考文献		PDCA サイクル：吉田千文他 ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理 第5版 メディカ出版 他適宜紹介する			
オフィスワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：シラバス内の専任教員連絡先一覧を参照し、担当教員に確認する。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。担当教員は看護職としての実務経験を3年以上有し、各担当教員が、専門とする看護実践領域の演習を担当できるようにしています。教員の研究成果を演習中に紹介することがあります。			

開設科目名	疫学Ⅱ	科目コード	BSNLH402	開設期	4年 前期
単位数（履修区分）	1単位（自由）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手 悠一郎	担当者	井手 悠一郎		
授業の概要（授業の目的）					
公衆看護の実践に必要な疫学の概念と方法についての基本を理解し、将来、保健師として活動するための実践応力を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
保健師において必要とされる疫学知識を習得する			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔の場合は Microsoft Teams による同時双方向型で実施					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学の概念	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
2	疾病頻度の指標	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
3	曝露効果の指標	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
4	疫学調査法	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
5	スクリーニング	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
6	疾病登録	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
7	生活習慣病の疫学	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
8	主な疾患の疫学、エビデンスに基づく公衆衛生看護に関連する疫学	講義(面接)	井手	授業内容の復習	2時間
成績評価方法・基準	①各回の復習レポート 50%（提出は WebClass に行ってください。） ②定期試験 50%（筆記試験または WebClass 上で実施します。） 科目責任者が評価を行います。				
課題に対するフィードバック	試験後、各自の評価結果は WebClass にてフィードバックします。				
教科書	南山堂『看護学生のための疫学・保健統計』				
参考書・参考文献	医学書院『基礎から学ぶ 楽しい疫学』 医学書院『標準保健師講座 疫学・保健統計学』				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	保健師の国家試験出題範囲「疫学」を見据えた内容の科目です。 連絡先 井手悠一郎（6号館2階 井手悠一郎研究室）、オフィスアワー：火曜 16：00～17：00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。 メール等での質問も可です。（アドレスについては Microsoft 365 を参照してください） ICT の活用：復習レポートにおいては、1～8回の授業内容についての復習ノート（手書きまたは Word）を作成し、手書きの場合は、Office Lens 等で撮影を行った上で（pdf 形式）、WebClass へ提出してください（提出可能形式：.doc、.pdf のみ） その他：第4回については、「Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies」に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。				

開設科目名	保健統計学	科目コード	BSNLH403	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（ 自由 ）	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代		
授業の概要（授業の目的）					
人口統計や保健統計調査の動向から、その意味や背景にあるものを読み解き、データリテラシー基礎で学んだ統計学の基礎的知識を発展させる。すなわち地域の人々の健康課題についてのデータ分析や健康の維持増進のケアにつなげるための保健統計学の理論と応用を学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 人口統計と保健統計調査の動向が説明できる。				医療の基礎／ロイ適応看護モデル	
2. パソコンを用いて連続データを図表化し、分布の特性と代表値を計算できる。					
3. 推測統計の考え方を理解し、検定結果の意味を説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	人口統計	講義 〈面接〉	堤	教科書 P82～98 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	2 時間
2	保健統計調査	講義 〈面接〉	堤	教科書 P82～98 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
3	尺度の種類（度数分布とヒストグラム）	講義・演習 〈面接〉	堤	教科書 P157～166 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
4	一変量の記述統計（代表値）	講義・演習 〈面接〉	堤	教科書 P157～166 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
5	二変量の記述統計（クロス集計・相関）	講義・演習 〈面接〉	堤	教科書 P172～174 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
6	推測統計の考え方と検定の種類	講義・演習 〈面接〉	堤	教科書 P174～179 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
7	二標本平均の差の検定とノンパラメトリック検定	講義・演習 〈面接〉	堤	教科書 P183～184 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
8	χ ² 乗検定とオッズ比	講義・演習 〈面接〉	堤	教科書 P180～182 を読んでおく 講義内容を復習し、Webclass の確認テストを受ける	4 時間
成績評価方法・基準		筆記試験 100%（評価者：堤）webclass の確認テストを中心に出题します。			
課題に対するフィードバック		授業後の確認テストは webclass で受験終了後に解説が表示されますので、復習に役立ててください。 筆記試験については、再・追試験終了後に解説を webclass にて掲示します。			
教科書		浅野嘉延著『看護学生のための疫学・保健統計』 国民衛生の動向			
参考書・参考文献		柳川堯著『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』近代科学社			
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		数多くの臨床研究支援を経験する教員が、実践の場におけるデータ分析につながる知識・技術として、統計ソフト JMP の操作を通して、統計学の知識を教授します。 授業は、パソコン室（242 教室）で行い、個人のノートパソコンに JMP をインストールして使用します。 パソコンが準備できない方は、データ保存のために USB メモリを持参してください。 特に保健師国家試験に対応した内容ですが、看護師国家試験の統計知識にも対応しています。「データサイエンス入門プログラム」の選択科目を積み上げて学修してきた人にとっては、総まとめの内容として履修できます。 知識の確認は、webclass の確認テスト（公開期間限定）で復習してください。 疑問点は演習時間またはメールでも質問を受けますので、遠慮なくお尋ねください。 堤 千代 オフィスアワー（火）12：10～13：10 2 号館 220 室 tsutsumi@stmariacjp.onmicrosoft.com			

開設科目名	ケアリングサイエンス	科目コード	BSNBA401	開設期	4 年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	桃井雅子	担当者	井手信、ケンネス・ジェラード・スレイマン、日高艶子 桃井雅子、小浜さつき、谷多江子、中村真弓、秦野環		
授業の概要 (授業の目的)					
ケアリングサイエンスは、本学の教育理念に基づく科目と位置付ける。これまでの講義や演習、実習で学んだケアの意味、ケアの方法、ケアの実践を通してケアリング及びケアリングサイエンスについて小グループで検討し本学がめざすいのちの支援者について探求する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 「建学の精神 (カトリックの愛の精神)」とケア／ケアリングについて、下記①②の観点から理解し、理解したことを考察できる。 ①聖マリアグループの「基本理念」に基づくケア／ケアリング ②「人格主義生命倫理学」に基づくケア／ケアリング			いのちの尊重・倫理の本質 医療の基礎/ロイ適応モデル		
2. 「建学の精神」とケアリングサイエンスについて、実践科学としての看護学の観点から、具体的な看護の実践・探求 (全人的ケア／ケアリングの実践・探求) を通して理解し、理解したことを考察できる。					
3. 「建学の精神」とケア／ケアリング、ケアリングサイエンスについて理解・考察したことを基に、本学がめざす「いのちの支援者・いのちの奉仕者」について自ら、また他者と協働して考察・探求できる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	建学の精神とケア／ケアリング① 聖マリアグループの「基本理念」に基づく ケア／ケアリングの基本的理解と考察	講義 (対面)	井手	予習：提示された文献等の資料に目を通す 復習：学修内容の振り返り・考察	4 時間
2	建学の精神とケア／ケアリング② 「人格主義生命倫理学」の視点に基づく ケア／ケアリングの理解と考察	講義 (対面)	スレイマン	予習：提示された文献等の資料に目を通す 復習：学修内容の振り返り・考察	4 時間
3	建学の精神とケアリングサイエンス① 実践科学におけるケア／ケアリングの実践・探求 (以下同様) 「小児看護とケア／ケアリング」	講義 (対面)	中村	予習：提示された文献等の資料に目を通す 復習：学修内容の振り返り・考察	4 時間
4	建学の精神とケアリングサイエンス② 「成人看護とケア／ケアリング」	講義 (対面)	小浜	予習：提示された文献等の資料に目を通す 復習：学修内容の振り返り・考察	4 時間
5	建学の精神とケアリングサイエンス③ 「精神看護とケア／ケアリング」	講義 (対面)	谷	予習：提示された文献等の資料に目を通す 復習：学修内容の振り返り・考察	4 時間
6	建学の精神とケアリングサイエンス④ 「リハビリテーション看護とケア／ケアリング」	講義 (対面)	日高	予習：提示された文献等の資料に目を通す 復習：学修内容の振り返り・考察	4 時間
7	建学の精神とケアリングサイエンス⑤ 「国際看護とケア／ケアリング」	講義 (対面)	秦野	予習：提示された文献等の資料に目を通す 復習：学修内容の振り返り・考察	4 時間
8	建学の精神に基づく「いのちの支援者・奉仕者」についての 考察・探求	講義 GW (対面)	桃井・中村 小浜・谷 秦野	予習：これまでの学修を振り返り「いのちの支援者・奉仕者」について事前に考察しておく。 復習：これまでの学修を振り返り、考察したことを、提示された課題に沿ってまとめる。	4 時間
成績評価方法・基準	授業外レポート 100% (担当：桃井)				
課題に対するフィードバック	各担当者による課題のフィードバックは、講義中または本科目終了後 (総評) に、学内限定の電子メール配信システム等を活用して実施します。				
教科書	特に指定しません。				
参考書・参考文献	教皇庁 保健医療従事者評議会(2016)：生命倫理についての新しい指針 いのちと健康に奉仕するすべての人に向けて～、インターメディカ、東京。 * その他、各授業担当者より、参考書・参考文献をご紹介します。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	* オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00 (桃井雅子) * 学習相談：随時受け付けます。 * メッセージ：4 年間の学びを統合し、自らの「いのちの支援者・奉仕者」としての使命と役割・責務について深く考えてください。 * そ の 他：この科目は看護職の実務経験を有する教員が、自らの臨床経験ならびに研究経験・実績等をもとに授業を行います				

開設科目名	適応促進統合実習	科目コード	BSNBA402	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	4 単位（必修）	時間数	180 時間	授業区分	実習
責任者	近末清美	担当者	桃井雅子、中村和代、堤千代、橋口ちどり、小浜さつき、川口賀津子、秦野環、谷多江子、浅野美智留、高本佳代子、吉里孝子、中村真弓、石本祥子、渋谷暁春、倉成由美、本田歩美、山口智治、井口亜由、田中貴子、長友奈央、桐明祐弥、近末清美他		
授業の概要（授業の目的）					
適応促進統合実習は、多様な場での実習を通し、患者や地域の人々に質の高い医療・看護などが切れ目なく提供され、人々の生活の質を維持し、尊厳をもって生活していくための看護職の役割を学修する。実践の場では、課題にそって看護を探究し、看護の本質にふれ、卒業後も継続して看護学を追求する姿勢について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 適応促進統合実習において探究する課題を決定できる。			◎専門職者として継続した能力の向上 いのちの尊重・倫理的本質		
2. 課題を達成するために、必要とされる調整を主体的に行い、実習計画書を作成できる。					
3. 看護倫理に基づく責任ある看護実践を提供できる。					
4. 看護実践における看護職の役割と課題を探究することができる。					
5. 看護の専門職として生涯学修すること、看護学の発展に寄与しようとする意識をもつことができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
内容		方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
期間：4 週間（月～金） 場所：聖マリア病院、聖マリアヘルスケアセンター、訪問看護ステーション、聖母の家 聖ルチア病院、のぞの丘病院、町役場、子育て世代包括支援センター 企業、看護小規模多機能型居宅介護施設、他学生が希望する施設 1)主体的に実習の準備を行なう ・実習で探究する課題を決定する。 ・課題を達成するための実習場所について、担当教員のサポートを受けながら決定し、実習計画書案を作成する。 ・担当教員との調整終了後、作成した実習計画書案について、実習場所の師長や教育担当者に説明し、必要であれば調整し、実習計画書を決定する。 2)実践 ・作成した実習計画書に基づき主体的に実習を行なう。 ・実習開始後に何らかの理由で実習計画の変更を必要とされた場合は、誰に相談すべきかを判断し、主体的に計画の修正を行なう。 ・課題を達成するために必要と判断したことについて積極的に考え、行動する。 3)まとめ ・実習の準備段階から実習終了までのプロセスレポートを提出する。 ・最終レポートを提出する。		実習	担当者 全員	実習ハンドブックおよび オリエンテーション資料を 読んでおく 課題にそって探究する	10 時間 以上
成績評価方法・基準	レポート：①実習計画 20%、②プロセスレポート 20%、③最終レポート 60% 評価：実習担当教員全員				
課題に対するフィードバック	担当者からその都度フィードバックを行います				
教科書	適宜紹介する。				
参考書・参考文献	特になし				
ワイズラー 学習相談 メッセージ その他	シラバス内の専任教員連絡先一覧を参照し、指導教員に確認する。 その他：この科目は看護職として実務経験 3 年以上を有する教員が、各実習施設の実習指導者と連携し、個々の学生に対し、学生の立案した実習目的・目標が達成できるよう指導を行います。さらに、学生の看護への探究に役立てるため教員の研究成果を実習中に紹介します。				

開設科目名	看護研究Ⅱ	科目コード	BSNBA311	開設期	3年後期～4年通年
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	90時間	授業区分	演習
責任者	桃井雅子	担当者	「看護研究」担当教員		
授業の概要（授業の目的）					
本科目では、看護研究Ⅰ・4年次までに学修した科目・実習での看護実践経験をもとに、自らが探求したい看護に関連した課題を明らかにし、ゼミ担当教員とともに討議や議論を重ねることで研究の一連のプロセスを学修し、各自が研究課題に取り組む。合わせて、看護者・研究者としての倫理的態度、科学的思考、問題解決力及び看護を探究していく姿勢を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 自らが探求する「看護に関連した課題（例：Clinical Question、以下「看護の課題」）」を、文献レビュー（系統的な文献検索、文献のクリティーク、文献の整理等）を含む一連のプロセスを経ることで、先行する知識との繋がりを踏まえて明確化できる。			いのちの尊重・倫理的本質 医療の基礎／ロイ適応看護モデル 専門職として継続した能力の向上		
2) 上記1)で明確化した「看護の課題」を探究するために「研究疑問（Research Question）」として表現し、その疑問の回答を得るための「研究計画」を立案し明文化できる。					
3) 上記1)及び2)のプロセスを自らまた他者と協働して辿ることで、看護の専門職者かつ実践者である「看護研究者」に求められる「倫理的行動に必要な知識、姿勢・態度」を培うことができる。					
4) 上記1)及び2)のプロセスを自らまた他者と協働して辿ることで、建学の精神のもとで学び看護専門職を志す者として「人間にとって最善のケアを研究によって探求し創出する資質と能力」と「社会と人々の健康に寄与する看護研究（看護学）の目的を踏まえて、生涯にわたり持続的に自己研鑽する資質と能力」を培うことができる。 ※上記の「資質・能力」には「新たな知への探求心と、知を探究する上で必要な科学的思考力・論理的思考力、自己効力感」を含みます。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス	演習	科目責任者	予習：看護研究Ⅰの学修内容を振り返り、授業に臨む。 復習：看護研究Ⅰの学修内容を踏まえて、自ら関心を有する看護の課題について文献等のリソースを活用して探索・探求を試みる。	
	(2回目以降) 各ゼミナールの授業計画に沿って学修する		「看護研究」担当教員	各担当教員の提示する課題に取り組んでください。	
成績評価方法・基準		授業の参加状況 20％， 研究計画書（最終提出物）80％（評価担当者：各「看護研究」担当教員）			
課題に対するフィードバック		ゼミナールの際に、担当教員がフィードバックを行います。			
教科書		特に指定しません。			
参考書・参考文献		適宜、各担当教員よりご紹介します。			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		＊オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00（桃井雅子） ＊学習相談：随時受け付けます。 ＊そ の 他：この科目は看護職の実務経験を有する教員が担当する科目です。各担当教員は、自らの臨床経験ならびに研究経験や研究実績をもとに授業を行います			

開設科目名	公衆衛生看護管理論Ⅱ	科目コード	BSNGC401	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	高本佳代子	担当者	高本佳代子 堤千代 渋谷暁春 田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
保健医療福祉関連領域の基礎知識を統合させ、地域ケアシステムの形成や地域の健康問題の対処を組織的に解決できる実践力を醸成する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 地域保健活動の展開理論、方法について実際の活動事例を用い学ぶ。			地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築		
2. 理論・方法を用いた文献から活動展開上の課題を探究する。					
3. 活動展開に要する住民全体の関係機関・関係者との連携・協働に係わる参加型実践方法、 ならびに、疫学・統計手法による地区診断の方法・技術を学び、地域看護活動展開上の 質的・量的根拠資料の作成技術を習得する。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護の基本理念/基盤となる概念 プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション・SDGs・ well-being・アドボカシー・エンパワメント	講義＜対面＞	高本	第 1・2 章を事前に読んでおく。 各講義終了時に指示する。	4 時間
2	公衆衛生看護の歴史 日本における公衆衛生看護の歴史 欧米の公衆衛生の発達と公衆衛生看護活動の歴史	講義＜対面＞	高本	第 10 章を事前に読んでおく。 各講義終了時に指示する。	4 時間
3	公衆衛生看護の場の特徴 行政機関・職域・学校・医療施設・福祉施設・国際	講義＜対面＞	高本	第 3 章を事前に読んでおく。 各講義終了時に指示する。	4 時間
4	公衆衛生看護管理 看護管理 8 つの特徴	講義＜対面＞	高本	第 8 章を事前に読んでおく。 各講義終了時に指示する。	4 時間
5	地域診断（1） 地域診断の概念・地域診断に関連する理論とモデル	講義＜対面＞	高本	各講義終了時に指示する。	4 時間
6	地域診断（2） 実習地域の地域視診、地域診断に必要な情報収集	フィールドワーク ＜対面＞	高本	各講義終了時に指示する。	4 時間
7	疫学・保健統計の活用（1） データの可視化と分析のポイント	講義＜対面＞ パソコン室	堤	各講義終了時に指示する。 実習地のデータにアクセスする。	4 時間
8	疫学・保健統計の活用（2） 地域診断に活用できる調査統計と SMR	講義＜対面＞ パソコン室	堤	各講義終了時に指示する。 実習地の SMR を計算する。	4 時間
9	地域診断の実践（1） コミュニティズパートナーモデルの実践	GW＜対面＞	高本、渋谷、田 中	各講義終了時に指示する。	4 時間
10	地域診断の実践（2） コミュニティズパートナーモデルの実践	GW＜対面＞	高本、渋谷、田 中	各講義終了時に指示する。	4 時間
11	地域診断の実践（3） コミュニティズパートナーモデルの実践	GW＜対面＞	高本、渋谷、田 中	各講義終了時に指示する。	4 時間
12	地域診断の発表（1）	討議＜対面＞	高本、渋谷、田 中	各講義終了時に指示する。	4 時間
13	地域診断の発表（2）	討議＜対面＞	高本、渋谷、田 中	各講義終了時に指示する。	4 時間
14	地域診断の修正（1）	GW＜対面＞	高本、渋谷、田 中	各講義終了時に指示する。	4 時間
15	地域診断の修正（2）	GW＜対面＞	高本、渋谷、田 中	各講義終了時に指示する。	4 時間

成績評価方法・基準	地域診断プレゼンテーション 30%（担当者全員）、授業内レポート 10%（高本）、定期試験 60%（高本）
課題に対するフィードバック	地域診断プレゼンテーション及びグループワークはその都度フィードバックを行う。
教科書	・標準保健師講座 1「公衆衛生看護学概論」医学書院 ・国民衛生の動向 厚生統計協会
参考書・参考文献	・地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド〔第2版〕医歯薬出版株式会社
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	高本佳代子 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10、その他在室時 7号館 2階 722室（内線 722） 堤 千代 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10 2号館 1階 220室 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com *担当教員は、20年以上、保健所や市町村の保健師としての豊富な経験を持ち、母子から成人、高齢者、精神、難病、感染症 保健、災害保健活動などの実務のほか、予算管理、情報管理、人材育成・人事管理、施策化の実績がある。特に現在、地方 自治体で配置が推進されている統括保健師の経験もあり、公衆衛生看護管理についての技術を講義や演習で教授していく。 *ICTの活用：演習後はWebClassで理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が公衆衛生看護について教授する科目です。

開設科目名	健康危機管理論	科目コード	BSNGC402	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（選択）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	渋江暁春	担当者	渋江暁春、高本佳代子		
授業の概要（授業の目的）					
食中毒、感染症、医薬品ならびに大震災や大量殺傷テロ事件などによって生じる地域住民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して、保健所、市町村における公衆衛生看護の役割と、健康危機管理業務の一連の流れを学ぶ。また、職域・学校・病院との連携の必要性和連携体制づくりを学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 健康危機管理の理念と目的、制度とシステムが説明できる。			地域の人々との連帯・協働/ケア環境の構築		
2. 感染症の動向や感染症に対する地域保健活動を理解できる。					
3. 児童・高齢者虐待に係わる現状と保健活動が理解できる。					
4. 母子を対象とした福祉施設とその特性や関係機関との連携について理解できる。					
4. 災害における定義や保健活動が説明でき、今後の課題について理解できる。					
5. 保健所における健康危機管理における役割について理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康危機管理の定義と現状	講義 ＜面接＞	渋江	教科書：健康危機管理を読んでおくこと	4 時間
2	健康危機管理システムと保健所の役割	講義 ＜面接＞	渋江	教科書：健康危機管理を読んでおくこと	4 時間
3	感染症に対する地域保健活動の実際 感染症の動向及び調査 感染症法・積極的疫学調査・食中毒	講義 ＜面接＞	渋江	教科書：感染症集団発生時の保健活動を読んでおくこと	4 時間
4	児童虐待に係わる現状と保健活動 高齢者虐待に係わる現状と保健活動 母子を対象とした福祉施設との連携	講義 ＜面接＞	渋江	児童虐待、高齢者虐待、母子を対象とした福祉施設に係わる文献を読んでおくこと	4 時間
5	災害の定義及び災害保健活動① 平常時の災害予防対策	講義・GW ＜面接＞	渋江	教科書：災害と保健活動を読んでおくこと	4 時間
6	災害の定義及び災害保健活動② 災害弱者の対応	講義・GW ＜面接＞	渋江	復習・グループ課題	4 時間
7	災害の定義及び災害保健活動③ 発表	GW・討議 ＜面接＞	渋江	復習・グループ課題	4 時間
8	災害復旧・復興期の保健活動と今後の課題 被災状況が及ぼす健康影響について	講義 ＜面接＞	高本	災害復旧や復興等に係わる文献を読んでおくこと	4 時間
成績評価方法・基準	定期試験 50%（渋江） 課題レポート 50%（担当者全員）				
課題に対するフィードバック	フィードバック：webclass 上で提出してもらい、課題にはコメントを付けて返却する。				
教科書	・標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動				
参考書・参考文献	・国民衛生の動向：厚生統計協会				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	office365 のメールでアポイントを取って下さい。質問はメールでも受け付けます。 渋江暁春 オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時 shibue@stmaryacjp.onmicrosoft.com その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。健康危機に関する具体的な保健活動の場面や事例などを提示しながら、それを実践に活かすために必要な知識・スキル・態度ついて、受講生が修得することができるように教授します。				

開設科目名	個人・家族援助論Ⅱ	科目コード	BSNGC403	開設期	4年前期
単位数（履修区分）	2単位（自由）	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	田中貴子	担当者	田中貴子、高本佳代子、渋谷暁春		
授業の概要（授業の目的）					
家庭訪問事例における対象別援助ニーズに応じた家族保健指導および家庭訪問の実践能力を育成する。また、対象別保健活動の動向を理解し、家庭訪問・健康相談からケアシステム構築までの発想を高める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 対象別保健活動の動向と保健指導について理解する。			地域の人々との連携・協働 / ケア環境の構築		
2. 家庭訪問における指導・相談・支援技術について習得する。					
3. 家庭訪問・健康相談からのケアシステムの構築について理解する。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	科目ガイダンス 家庭訪問による支援の展開	講義＜対面＞	田中	予習：教科書②の5章Aを読んでおく。	
2	家庭訪問演習（演習ガイダンス、事例紹介、記録の書き方、アセスメント）	演習＜対面＞	全員	予習：妊娠・分娩の経過、乳幼児の発達成長を復習しておく。復習：個人課題	
3	母子保健（親子保健）活動	講義＜対面＞	渋谷	教科書①の母子保健活動を読んでおく	
4	成人保健活動	講義＜対面＞	田中	の成人保健活動を読んでおく	4時間
5	高齢者保健活動	講義＜対面＞	渋谷	高齢者保健活動を読んでおく	4時間
6	精神保健活動	講義＜対面＞	田中	精神保健活動を読んでおく	4時間
7	障害者（児）保健活動	講義＜対面＞	渋谷	障害者（児）保健活動を読んでおく	4時間
8	難病保健活動	講義＜対面＞	高本	難病保健活動を読んでおく	4時間
9	感染症保健活動	講義＜対面＞	渋谷	感染症保健活動を読んでおく	4時間
10	結核対策における保健活動	講義＜対面＞	田中	結核対策における保健活動を読んでおく	4時間
11	家庭訪問演習（家庭訪問計画の発表と修正）	演習＜対面＞	全員	予習：家庭訪問計画の準備（個人→グループ）	4時間
12	家庭訪問技術演習（新生児家庭訪問のロールプレイ）	演習＜対面＞	全員	乳児家庭訪問技術について練習しておく。	4時間
13	家庭訪問技術演習（新生児家庭訪問のロールプレイ）	演習＜対面＞	全員	乳児家庭訪問技術について練習しておく。	4時間
14	家庭訪問演習〔実施後の評価・考察〕	演習＜対面＞	全員	講義内容の復習	4時間
15	家庭訪問演習〔ロイモデルの様式による事例分析〕	演習＜対面＞	全員	講義内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 60%（田中、渋谷、高本） 演習・課題 40%（担当者全員）				
課題に対するフィードバック	演習時にフィードバックする				
教科書	①標準保健師講座3『対象別公衆衛生看護活動』第5版：医学書院 ②標準保健師講座2『公衆衛生看護技術』第5版：医学書院 ③水野克己著；新版お母さんがもっと元気になる乳児健診：メディカ出版				
参考書・参考文献	写真でみる乳幼児健診の神経学的チェック法 改訂9版：南山堂 「国民衛生の動向 2024／2025：厚生労働統計協会				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	田中貴子：オフィスアワー月曜日 12：10～13：10、その他在室時 takako-tanaka@stmaryacjp.onmicrosoft.com ・家庭訪問演習については、公衆衛生看護学実習の事前学習として、実習前1週間の中で行います。 ・本講義は、2年「公衆衛生看護学概論」、3年「個人・家族援助論Ⅰ」で修得した知識が必要です。 この科目は、主に保健師として実務経験を有する教員が担当します。県域保健所において行政の保健師として20年以上かつ産業保健師として5年以上の実務経験を活かして教授します。それぞれの実践分野を生かし、具体的な事例を用いて学生の想起を促し、理論と結びついた授業を展開します。また、保健師活動の基盤である家庭訪問の演習では訪問指導の手技を押さえ、その意義と特徴について理解を促しながら演習を進めます。				

開設科目名	集団・組織援助論Ⅱ	科目コード	BSNGCS404	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤千代	担当者	堤千代、高本佳代子、渋江暁春、田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
実習施設ごとの指定されたテーマに沿って、住民対象の健康教室を実施するための指導案を作成する。その演習を通して、地域の健康課題を集団的アプローチによって解決する手法について学び、実習前の実現地域における健康教育の技術・方法にかかる、実践的な能力を育成する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）健康課題と行政施策との繋がりについて、説明できる			地域の人々との連帯・協働／ケア環境の構築		
2）健康教育を行う意義について、根拠に基づき説明できる					
3）提供する健康情報のエビデンスを生物学的側面、疫学的側面から説明できる					
4）授業構成を工夫し、指導の一連の過程を明示した指導案を作成できる					
5）対象者の特性をとらえ、それに合わせたプレゼンテーションの工夫ができる					
6）実施した健康教室の評価の視点を述べるができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康課題把握（地域診断）に基づく活動計画・実践・評価	講義 〈面接〉	高本	予習：地域診断から活動計画について学習	4 時間
2	住民ニーズの施策化	講義 〈面接〉	高本	予習：ニーズ把握方法から施策化について学習	4 時間
3	地域におけるグループ支援・組織化	講義 〈面接〉	高本	予習：グループ支援・組織化について学習	4 時間
4	健康教育の位置づけとエビデンスの追究	講義・GW 〈面接〉	堤	復習：健康教育のテーマについて文献を調べる	4 時間
5	教室の構成と指導案	講義・GW 〈面接〉	堤	復習：健康教育の指導案構成を検討する	4 時間
6	指導案の書き方と媒体	講義・GW 〈面接〉	堤	復習：健康教育の指導案を Teams に提出する	4 時間
7	指導案作成演習① 情報収集	講義・GW 〈面接〉	堤	復習：担当地域の特性について情報収集を行う	4 時間
8	指導案作成演習② 指導案構成	GW 〈面接〉	堤	復習：担当地域の指導案を Teams に提出する	4 時間
9	担当地域の健康教育指導案作成演習①エビデンス	GW 〈面接〉	堤・他	復習：指導を受けた指導案について修正する	4 時間
10	担当地域の健康教育指導案作成演習②導入	GW 〈面接〉	堤・他	復習：担当地域の指導案を Teams に提出する	4 時間
11	担当地域の健康教育指導案作成演習③展開	GW 〈面接〉	堤・他	復習：指導を受けた指導案について修正する	4 時間
12	担当地域の健康教育指導案作成演習④まとめ	GW 〈面接〉	堤・他	予習：プレゼンテーションの準備をしておく	4 時間
13	プレゼンテーション①健康教育指導案発表	発表 〈面接〉	堤・他	予習：プレゼンテーションの準備をしておく	4 時間
14	プレゼンテーション②住民役からの意見	発表 〈面接〉	堤・他	復習：指導案の修正を行い、実習に臨む	4 時間
15	修正についてのグループディスカッション	討議 〈面接〉	堤・他	復習：指導案の修正を行い、実習に臨む	4 時間
成績評価方法・基準	事前指導の頻度と改善の程度 30%、提出された最終成果物の完成度 70%（堤）				
課題に対するフィードバック	学内発表時にフィードバックします				
教科書	・医学書院 標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 ・厚生統計協会：国民衛生の動向				
参考書・参考文献	・日本看護協会「新版保健師業務要覧」第 3 版日本看護協会出版				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他	行政保健師としての経験を有する教員や地域住民を対象とした健康教育の豊富な実績をもつ教員が、集団に対する教育の実践的技術について教授します。演習を通して、実践に備えましょう。集団・組織援助論Ⅰで学んだ知識を活かして、健康情報のエビデンスを探究し、対象者に質問されても回答できる知識を学修した上で健康教室を実施してください。 堤 千代 オフィスアワー（火）12：10～13：10 2 号館 220 室 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com				

開設科目名	公衆衛生看護活動展開論	科目コード	BSNGC405	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	高本佳代子	担当者	高本佳代子 渋江暁春 田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
地域で生活する個人、家族、集団、地域の特性をふまえて、公衆衛生看護活動の展開方法について学ぶ。特に、個人・集団の行動変容理論を理解し、施策化によって地域全体に働きかける方法を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 公衆衛生看護活動の展開理論、方法について理解し、説明できる。			地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築		
2. 地域組織活動の理論・方法について理解し、説明できる。					
3. 公衆衛生看護活動の展開における教育活動の企画・運営・実践・評価ができる。					
4. ヘルスプロモーションの展開に活用できるプリシード・プロシードモデルを活用できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護における機能と技術 公衆衛生看護における対象理解	講義＜対面＞	高本	講座 2 の第 1・2 章を読んでおく 各講義終了時に指示する。	4 時間
2	公衆衛生看護活動の実際 保健所及び市町村の活動	講義＜対面＞	高本 ゲストスピーカー	講座 2 の第 3 章を読んでおく 各講義終了時に指示する。	4 時間
3	公衆衛生看護の基盤となる理論(1) 地域活動の理論と方法論	講義＜対面＞	高本	講座 2 の第 3 章を読んでおく。 各講義後に指示する。	4 時間
4	公衆衛生看護の基盤となる理論(2) 歯科保健活動とプリシード・プロシードモデル	講義＜対面＞	高本	講座 3 の第 8 章を読んでおく。 各講義後に指示する。	4 時間
5	地域組織活動の展開（1） 地域組織にかかる概念/地域組織活動の歴史	講義＜対面＞	高本	講座 2 の第 7 章を読んでおく。 各講義終了時に指示する。	4 時間
6	地域組織活動の展開（2） 地域組織活動の実際/健康なまちづくり	講義＜対面＞	高本	各講義終了時に指示する。	4 時間
7	公衆衛生看護活動の展開(1) 活動計画	講義＜対面＞	高本	各講義終了時に指示する。	4 時間
8	公衆衛生看護活動展開（2） 公衆衛生看護活動の目標設定と評価計画	GW＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
9	公衆衛生看護活動展開（3） 公衆衛生看護活動の評価	GW＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
10	公衆衛生看護活動の展開（4） 学校保健活動の実際	GW＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
11	公衆衛生看護活動の展開(5) 学校保健活動 健康教育発表	討論＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
12	公衆衛生看護活動展開（6） 公衆衛生看護活動の評価資料作り	GW＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
13	公衆衛生看護活動展開（7） 公衆衛生看護活動の資料作り	GW＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
14	公衆衛生看護活動展開（8） 公衆衛生看護活動の発表	討論＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
15	公衆衛生看護活動の展開(9) 評価とまとめ	GW＜対面＞	全員	各講義終了時に指示する。	4 時間
成績評価方法・基準	授業内レポート 10%（高本）、プレゼンテーション 30%（担当者全員）、定期試験 60%（高本）				
課題に対するフィードバック	グループワーク及びプレゼンテーションはその都度フィードバックを行う。				
教科書	・標準保健師講座 2「公衆衛生看護技術」医学書院 ・標準保健師講座 3「対象別公衆衛生看護活動」医学書院 ・国民衛生の動向：厚生統計協会				
参考書・参考文献	・地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド【第 2 版】医歯薬出版株式会社				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	高本佳代子 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10、その他在室時 ＊ この科目は保健師として実務経験を有する教員が公衆衛生看護について教授する科目です。担当教員は保健所や市町村の保健師としての豊富な経験を持ち、公衆衛生看護の展開技術を講義等で教授する。第 6 回には実際に政令御指定都市の保健師として小学校区単位の健康まちづくりを施策化したプロセスや内容等を紹介する。 ＊ ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。				

開設科目名	公衆衛生看護学実習	科目コード	BSNGCS406	開設期	4年前期・後期			
単位数（履修区分）	5単位（自由）	時間数	225時間	授業区分	実習			
責任者	高本佳代子	担当者	高本佳代子、渋江暁春、田中貴子					
授業の概要（授業の目的）								
地域全体を対象として捉え、地域の健康問題を抽出する方法を学ぶ。また、地域住民がヘルスプロモーションを基盤とした健康予防活動の実践ができるような支援技術を学ぶ。一方、単独訪問や継続訪問を通し個の支援技術を体得し、さらに個の問題の集積を地域全体の健康課題につなげ、その課題を解決するための施策化の過程を学ぶ。								
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連					
1. 地域の概況を把握し健康課題の根拠を示すことができる。			地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築					
2. 家庭訪問・健康診査・健康相談・健康教育・地区組織活動の法的根拠及び実施のプロセスと多職種との連携が理解できる。								
3. 地域ケアシステムの実際及び保健師の役割について理解できる。								
4. 事業化・施策化に必要な根拠と過程を理解する。								
5. 健康危機管理に必要な根拠と、組織的な管理体制について理解する。								
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）								
週	曜	実習内容	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間			
1 ～ 2 週目	月	実習オリエンテーション	担当者全員	公衆衛生実習ハンドブックとオリエンテーション資料の内容	25時間 以上			
	火	保健所実習／保健事業実習		ロイ適応モデルの学修内容:実習期間中に事例をロイ適応モデルによる事例検討を実施する。 実習市町村の地域診断を実施し、実習期間に発表する。				
	水	保健所実習／保健事業実習						
	木	保健所実習／保健事業実習						
	金	保健所実習／保健事業実習 2週目最終カンファレンス						
3 ～ 5 週目	月	市町村実習／保健事業実習				実習市町村における保健事業において、健康教育を企画立案し、実施する。 実習市町村における地域診断の結果、地域の課題解決に向けた施策化に向けた事業計画を立案する。		
	火	市町村実習／健康教育実施実習						
	水	市町村実習／保健事業実習						
	木	市町村実習／家庭訪問実習						
	金	市町村実習／保健事業実習 3週目最終カンファレンス						
		保健所・市町村実習のまとめを実施し、行政における保健師の役割を考察する。						
		明光学園における学校保健実習において、健康教育を実施し、学校保健における養護教諭の役割を考察する。						
成績評価方法・基準		実習評価表にもとづく、実習目標到達および実習態度の評価 100% 評価者：全員						
課題に対するフィードバック		課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。						
教科書		・荒賀直子他：公衆衛生看護学.jp インターメディカル ・標準保健師講座 1「公衆衛生看護学概論」医学書院 ・標準保健師講座 2「公衆衛生看護技術」医学書院 ・標準保健師講座 3「対象別公衆衛生看護活動」医学書院 ・標準保健師講座 5「保健医療福祉行政論」医学書院 ・井伊久美子他：保健師業務要覧 日本看護協会出版会 ・厚生統計協会：国民衛生の動向						
参考書・参考文献		*参考資料は随時提示します。						
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		高本佳代子（7号館4階743研究室） 火曜日12：10～13：10、その他在室時 takamoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com（質問もメールでも受け付けます。） *担当教員は20年以上、保健所や市町村での保健師としての豊富な経験を持ち、母子から成人、高齢者、精神、難病、感染症保健、災害保健活動などの実務のほか、予算管理、情報管理、人材育成・人事管理、施策化の実績がある。これらの実務経験を活かし、保健師の活動について教授しながら、実効性のある実習教育を行う。 *ICTの活用：演習後はWebClassで理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 実習期間が夏季なので、体調管理を十分に実施して下さい。質問は随時受け付けます。 その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が公衆衛生看護について教授する科目です						

開設科目名	保健医療福祉行政論	科目コード	BSNGC407	開設期	4 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	15 時間	授業区分	講義、演習
責任者	田中貴子	担当者	田中貴子、 渋江暁春		
授業の概要（授業の目的）					
保健医療福祉行政の最近の動向ならびに地域公共団体の保健・医療・福祉行政の理念と仕組み及び計画策定、実行、評価のサイクルについて学び、公衆衛生分野における保健師の役割、地域での活動方法を理解する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 保健医療福祉の重要な制度と関係法律について説明できる。				地域の人々との連携・協働 / ケア環境の構築	
2. 地域保健の体系と各機関の機能・役割について説明できる。					
3. 保健医療福祉の各分野の政策と動向について説明できる。					
4. 保健医療福祉の計画策定と評価について理解することできる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	保健医療福祉サービスの行政体系 保健医療福祉行政の目的、市町村・都道府県のしくみと役割	講義 ＜対面＞	田中	教科書①、第 1 章・第 3 章（A～C）のを読んでおく。授業内容の復習。	4 時間
2	地域保健行政と保健師活動	講義 ＜対面＞	田中	教科書①、第 3 章（B-1）、第 4 章を読んでおく。授業内容の復習。	4 時間
3	感染症対策、生活習慣病対策の施策と動向	講義 ＜対面＞	田中	教科書②、感染症対策、生活習慣病対策と健康増進対策を読んでおく 授業内容の復習。	4 時間
4	精神保健福祉対策、難病対策の施策と動向	講義 ＜対面＞	田中	教科書②、精神保健、難病対策を読んでおく。授業内容の復習。	4 時間
5	医療行政 医療保険制度、医療計画、地域医療の確保など	講義 ＜対面＞	田中	教科書①、第 5（A・B）を読んでおく。授業内容の復習。	4 時間
6	社会福祉・公的扶助の制度、介護保険制度	講義 ＜対面＞	渋江	教科書①、第 5 章（C・D）を読んでおく。授業内容の復習。	4 時間
7	保健医療福祉行政の政策の企画・実施・評価① （地方公共団体の各種保健医療福祉計画）	講義 ＜対面＞	田中	公衆衛生看護実習市町村の地域課題と関連する保健医療福祉計画をダウンロード、読んでおく。 復習：課題レポート。	4 時間
8	保健医療福祉行政の政策の企画・実施・評価② （事業化・施策化）	演習 ＜対面＞	田中	事前配布資料「地域診断と保健活動（保健計画と事業の関連）」を仕上げておく。 復習：課題レポート。	4 時間
成績評価方法・基準		定期試験 70%（田中）、課題レポート 30%（田中）			
課題に対するフィードバック		フィードバックは、講義の中で行います。課題については模範解答を示します。			
教科書		①標準保健師講座 5『保健医療福祉行政論』第 6 版：医学書院 ②『国民衛生の動向』2024/2025：厚生統計協会			
参考書・参考文献		公衆衛生看護学。JP：インターメディカル、国民の福祉と介護の動向：厚生統計協会 2024/2025			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		田中貴子（2 号館 1 階 222 研究室） オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時、メールでご連絡下さい。 takako-tanaka@stmaryacjp.onmicrosoft.com 1 年次科目「保健・医療・福祉と看護」とあわせ、公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や他関係機関の役割に関心をもって臨んでください。日頃から新聞等メディアでのニュース、社会課題に関心をもちましょう。			

開設科目名	フィールドスタディ I (フィリピン)	科目コード	BSNGC310	開設期	3 年または 4 年前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (自由)	時間数	9 0 時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要 (授業の目的)					
人種、宗教、文化、生活集団など普段の自身の生活とは異なる場に身を置いて、人間的価値、信仰、愛、能力を相互に分ち合うことなどを通して、『人間の尊厳』や「いのちに奉仕する意味」を学ぶ。常に世界の人々の健康を意識できるきっかけづくりを行うために開発途上国に向向いて行き、学修を深める					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1、キリシタンの歴史を通じ、日本とフィリピンの交わりを説明できる			持続可能な個人・集団・国の健康		
2、フィリピンにおける保健医療の現状を理解することができる					
3、ボランティア活動を通して、協力すること、協同することを学修し、その意義を理解することができる					
4、さまざまな状況、特に厳しい経済状況の中で懸命に生きる人々との出会いを通して、「生きる」とはどういうことなのか、「幸福とは何か」を仲間と考え、考えを共有できる。					
5、プライマリヘルスケアやヘルスプロモーションの意義を、社会の公平性・公正性という視点から考えることができる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
授業内容		方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1, 日本とフィリピンのかかわりを学ぶ (事前学習)		講義 ＜対面＞	秦野	フィリピンについて、政治、経済、社会、文化、保健医療状況などを調べる	取り組み 時間 10 時間以上
2, WPRO (WHO, Western Pacific Regional Office) の活動内容を学ぶ (事前学修)		講義 ＜対面＞	秦野	WHO, WPRO についてインターネットを活用し、調べる (事前学習として)	
現 地 に て 10 日 間 の 実 習	3, フィリピンのキリスト教について				
	3-1, マニラ市内観光 (St. Augustine Church, Manila Metropolitan Cathedral などを見学)	見学 ＜対面＞	秦野	フィリピンの歴史を調べておく	
	3-2, マザーテレサの家でのボランティア活動 (ボランティアとの協同、シスターのお話から人をケアすることを学ぶ)	実習 ＜対面＞	秦野	マザーテレサの家について調べておく	
	4, カハッサ修道女会での活動				
	4-1, カハッサ修道女会 (プリハン) でのボランティア活動	実習 ＜対面＞	秦野	カハッサ修道女会について調べておく。	
	4-2, プリハン住民の健康問題や保健医療の状況を学ぶ (州立病院、地域におけるヘルスセンター見学、プリハン地区における結核問題、プリハンの家庭訪問、小学校訪問、等)	見学実習 ＜対面＞	秦野	フィリピンの保健医療問題を調べておく 小児看護学概論の「子供の成長と発達」の部分を復習しておく	
	4-3, プリハンの子供たちに健康教育を実施する	実習 ＜対面＞	秦野	健康教育の準備とリハーサルを行う	
	4-4, カハッサ修道女会 (トンド、マニラ) で妊婦検診の見学実習	実習 ＜対面＞	秦野	妊婦検診の手順を教科書、視聴覚教材を用いて事前学修する	
	5, カハッサカレッジでの実習				
	5-1, サンパブロ州立病院での見学実習 (主に産科病棟)	実習 ＜対面＞	秦野	妊娠、出産、産褥に関し視聴覚教材を用いて事前学修しておく 母乳について調べる	
5-2, 教会附設 高齢者施設でのボランティア活動	実習 ＜対面＞	秦野	日本の高齢者施設における活動を事前学修する		
6, 経験と学びを大学祭と翌年の新年度オリエンテーションなどで報告する (帰国後発表会を開催する)		発表 ＜対面＞	秦野		
成績評価方法・基準	事前学習 20% 実習中の積極的な参加 (心身の健康管理を含む) と帰国後のレポート作成 60% 報告会 20% (評価者 秦野)				
課題に対するフィードバック	事前学習は実習前に全員で共有する。実習中は、可能な限り毎日カンファレンスを開催し、学びの共有を行い、質問に対応する。				
教科書	特に指定しない。				
参考書・参考文献	2 年次の教科書、各国連機関、JICA, 外務省、NGO のホームページなどを積極的に活用すること				

オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、その他の時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） 科目責任者は、アジアとアフリカの数か国における開発協力事業に従事し、人々の文化や慣習、生活に根差した健康改善・向上に関わった経験を持つ。これらの経験から、人々の尊厳を尊重した看護の構築を考えられるよう教授する。
---------------------------------	---

開設科目名	フィールドスタディー II (ラオス・タイ)	科目コード	BSNGC408	開設期	3 または 4 年前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (自由)	時間数	9 0 時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要 (授業の目的)					
既修の知識・技術をベースに、多様な文化の中での活動を行うことにより、看護の普遍性を考えるとともに、学生自身の国際看護のあり方を考える。加えて人間の持つ普遍性と人間の尊厳とは何かを考える。 * ラオス人民民主共和国は、東南アジアの中でも最も貧困な国のひとつである。そこで生活する人々の保健医療の状況や健康問題について学修し、人々の健康向上のために看護として実施可能な貢献について学ぶ。 * タイ王国では姉妹校である St. Louis College を訪問し、タイの看護を概観する。加えて世界の中でも HIV 新規感染者の数を劇的に減少させた国での取り組みや、覚せい剤や麻薬常習者への健康改善の取り組みについて学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1 事前学習としてラオス人民民主共和国、タイ王国の政治、経済、社会、歴史、文化などを調べ理解できる。			持続可能な個人・集団・国の健康		
2 両国における現在の健康問題、保健医療の現状を説明できる					
3 異文化におけるコミュニケーションを成立させるため、言語的・非言語的コミュニケーションを工夫し、会話ができるように準備することができる。					
4 ラオスの農村部において、ISAPH (International Support and Partnership for Health) の活動を見学し、事前学習と合わせて、現地に適した健康教育案の提案ができる。					
5 タイの首都バンコクにある St. Louis College、スラム地区にある NGO、エイズにかかわる事業などを見学し、タイにおける看護と感染症対策や人々の健康向上のための取り組みを理解することができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
授業内容		方法	担当	予習・復習(学習課題)	取組時間
事前学習	1、 事前学習				
	1-1、ラオス人民民主共和国、タイ王国の特徴を学ぶ (政治的、社会的、経済的、歴史的、文化的背景など)	演習	秦野	インターネットを活用し、ラオス、タイについて調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	取り組み時間 10 時間以上
	1-2、両国の保健医療状況、健康問題などの指標収集し、現状を把握する	演習	秦野	インターネットを活用し、ラオス、タイについて調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	
	1-3、あいさつ程度のラオス語・タイ語を準備する	演習	秦野		
現地 で 10 日 間 実 習	2、 フィールドスタディー	実習	秦野		
	2-1、ラオスにおいて。 ラオス、カムアン県タケウ市近郊の農村地区において ISAPH の活動を見学する。	実習	秦野	ラオス全般について調べておく	
	2-2、日々実習を振り返り、保健医療問題、文化・社会的背景を知り、解決方法を含む健康教育案を考える	実習	秦野		
	2-3、カムアン県にある県・郡病院の見学	実習	秦野		
	2-4、ピエンチャンにある国立医学教育病院見学	実習	秦野		
	2-6、ラオス JICA 事務所、WHO ラオス事務所、ラオス赤十字社を訪問し、ラオスの保健医療事業活動について学ぶ	実習	秦野		
	2-7、タイにおいて。 タイ St. Louis College、St. Louis hospital、タイ王国公衆衛生・保健省、バンコクのスラム地区の NGO、HIV エイズ関連事業を訪問し、タイにおける看護の実際、感染症対策について学ぶ。	実習	秦野	タイについて調べておく。	
事後学習	3、 事後学習				
	3-1、ラオス・タイ両国において学んだことをもとに、報告書を作成し、大学祭と翌年度の新年度オリエンテーションにおいて報告を行う	自己学修とプレゼンテーション	秦野		
成績評価方法・基準 課題に対するフィードバック	事前学習 20% 実習中の積極的な参加 (心身の健康管理を含む) と帰国後のレポート作成 60% 報告会 20% (評価者 秦野)				

教科書(番号があるもの) 参考書・参考文献	特に指定しない。国連機関、JICA、NGOs 各大使館、赤十字社のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） 科目責任者は、アジアとアフリカの数か国における開発協力事業に従事し、人々の文化や慣習、生活に根差した健康改善・向上に関わった経験を持つ。加えて、タイでの留学経験を有する（修士号取得）。これらの経験から、人々の尊厳を尊重した看護の構築を考えられるよう実習指導を行う。

開設科目名	フィールドスタディⅡ（韓国）	科目コード	BSNGC408	開設期	3 年または 4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	9 0 時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
既修の知識・技術をベースに、多様な文化の中での活動を行うことにより、看護の普遍性を考えるとともに、学生自身の国際看護のあり方を考える。加えて人間の持つ普遍性と人間の尊厳とは何かを考える。					
医療施設内（釜山カトリック大学学生実習施設、ソウル聖マリア病院、他）において、見学実習を行うことで、大韓民国における保健医療の状況や、看護の文化的・歴史的・社会的背景を知る。					
大韓民国の看護の発展を学び、その特徴を、日本を含む諸外国と比較する。					
大韓民国の保健医療状況、健康問題、特に最近の社会状況、例えば高齢社会における看護の役割を考え、姉妹校の学生たちと討論することができる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1 事前学習として大韓民国の政治、歴史、文化などを調べ、理解できる			持続可能な個人・集団・国の健康		
2 韓国における現在の健康問題、保健医療の現状を理解し、説明できる					
3 異文化コミュニケーションを成立させるため、言語的・非言語的コミュニケーションを工夫することができる					
4 医療施設内で展開される看護を見学し、大韓民国の看護についての理解を深めることができる					
5 花の村への訪問で、大韓民国の現在の保健・福祉分野の特徴、問題、社会的背景を理解できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
授業内容		方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
事前学習	1－1、大韓民国の政治、経済、社会、文化などについて調べる	演習	秦野	インターネットを活用し、韓国について調べる。特に健康問題、保健医療について調べる 日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）を英語でプレゼンテーションができるように準備する	取り組み時間 10 時間以上
	1－2、韓国の保健医療問題について調べる				
	1－3、日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）を英語でプレゼンテーションできるよう準備をする				
現地にて 10 日間実習	2、釜山において 2－1、釜山カトリック大学校の学生実習施設における見学実習（2 次医療施設、高齢者施設、など） 2－2 釜山カトリック大学校において、韓国の保健医療の状況、韓国の看護の歴史、などの講義を受ける 2－3、釜山カトリック大学校の学生との交流、文化体験学修	実習	秦野	インターネットを活用し、韓国について調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	
	3、ソウルにおいて 3－1、韓国カトリック大学校看護学部において韓国の健康問題、高度実践看護師の状況、WHO コラボレーションセンターの役割についての講義を受ける 3－2、日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）英語でプレゼンテーションを行う 3－3、ソウル聖マリア病院内で看護学見学実習を行う。ホスピスと在宅看護部門での実習を含む				
	4、コットンネ 花の村訪問（社会福祉施設）	実習	秦野	花の村とはどういうところか調べておく	
	事後学習	5、事後学習		秦野	
5－1 報告書を作成する		演習	秦野		
5－2、大学祭と翌年の新年度オリエンテーションなどで報告会を行う			秦野	事前学習から実習全体を振り返り、経験を共有できるように準備する	
成績評価方法・基準		事前学習 20%、実習中の積極的な参加（心身の健康管理含む）と帰国後のレポート作成 60%、報告会 20%（評価者 秦野）			
課題に対するフィードバック		事前学習は実習前に全員で共有する。実習中は、可能な限り毎日カンファレンスを開催し、学びの共有を行い、質問に対応する。			
教科書		特に指定しない。それぞれの姉妹大学のホームページ、国連機関、NGOs 大使館のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと			
参考書・参考文献		上記に同じ			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） 科目責任者は、韓国国内姉妹大学での実習引率経験と先方からの実習他の受け入れ経験を豊富に有し、韓国の文化慣習、他の基礎的知識を有している。これらの交流経験を活用し、韓国での看護学実習指導を行う。			